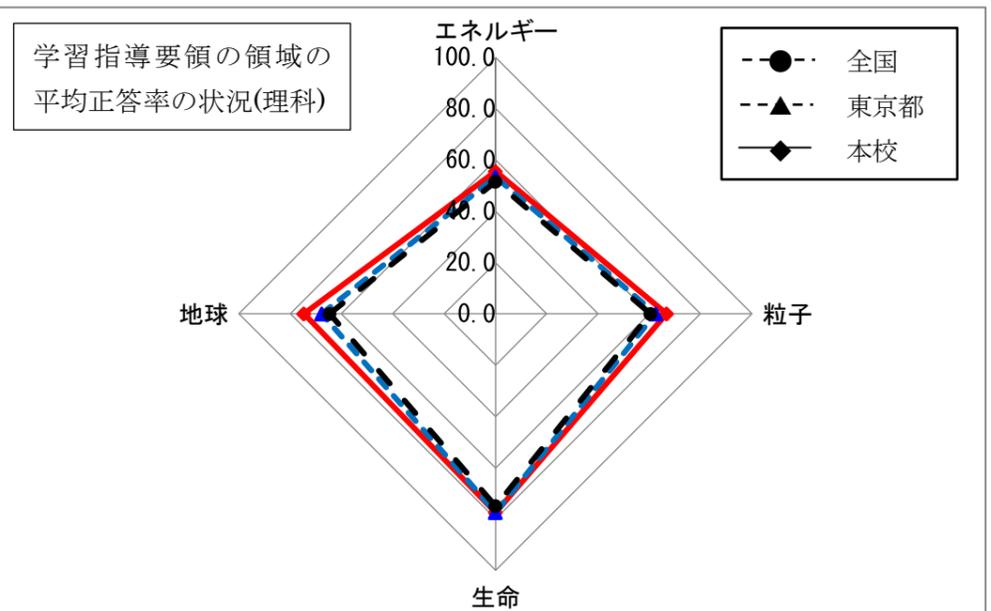
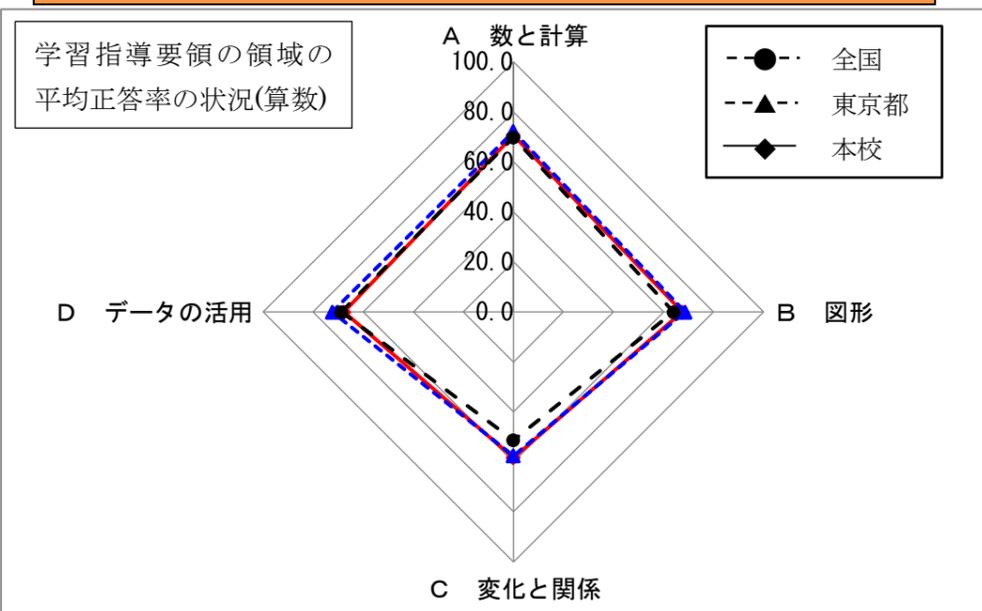
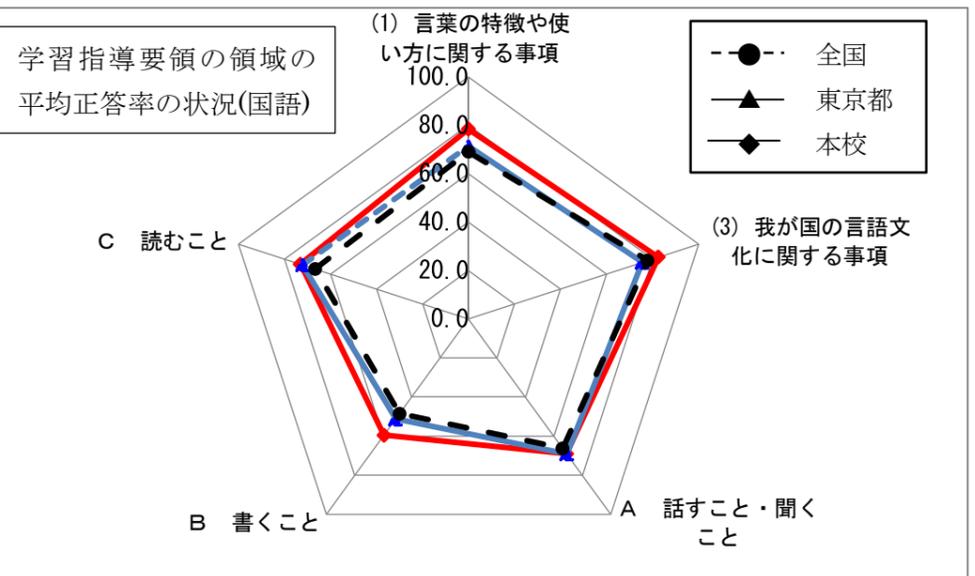


# 令和4年度 学習状況および学力向上に向けた取組

## 江戸川区立本一色小学校

### 『全国学力・学習状況調査』

- 1 調査日時 令和4年4月19日(火)
- 2 調査の対象学年及び対象児童数  
第6学年 65名
- 3 調査内容
  - (1) 【国語】知識・技能・活用等に関する問題
  - (2) 【算数】知識・技能・活用等に関する問題
  - (3) 【理科】知識・技能・活用等に関する問題
  - (4) 生活習慣や学習環境等に関する調査



### 成果と課題

○成果 △課題

#### 国語

- どの項目においても、正答率が東京都の平均を上回っている。
- △ 書くことの正答率が低かった。また、記述式の問題の正答率も低かった。自分の考えを文章で適切に表現する力を伸ばしていく必要がある。

#### 算数

- 変化と関係の問題では、全国の平均値を上回っている。
- △ データの活用の領域の正答率が全国、東京都の平均値を下回っている。データから必要な情報を読み取る力を付けていく必要がある。

#### 理科

- 「地球」や「粒子」を柱とする領域で、全国、東京都の平均値を上回っている。
- △ 「エネルギー」を柱とする領域の正答率が低かった。光の性質など、エネルギーに関する知識を身に付けられるようにしていく必要がある。

#### 生活習慣や学習環境

- 都、全国平均を上回る主な項目
  - ・人が困っているときは、すすんで助けてあげる。(約18%高い)
  - ・いじめはどんな理由があってもいけないことだ。(約9%高い)
  - ・学校に行くのは楽しいと思う。(約10%高い)
- △ 都、全国平均を下回る主な項目
  - ・自分と違う意見について考えるのは楽しいと思う。(約5%低い)
  - ・家で自分で計画を立てて勉強している。(約10%低い)

### 今後の学力向上に向けて

- 国語では、どの項目の正答率も東京都の平均を上回っていた。引き続き、国語の力を身に付けられるようにしていく。書くことに課題が見られ、記述式の問題の正答率も低かった。普段の学習で、自分の考えを書く活動を積極的に取り入れることが必要である。また、様々な言葉や表現方法を身に付け、自分の考えを正確に表現することができるようにしていく。
- 算数では、データの活用の領域に課題が見られた。データの特徴を捉えたり、自分に必要な情報を読み取ったりする力を付けていく必要がある。データやグラフに関する学習内容を復習したり、他の教科においてもグラフの読み取りを丁寧に行ったりして、グラフを読み取る力を育てていく。
- 理科では、「エネルギー」を柱とする領域の正答率が低かった。日光や光の性質といった身近なエネルギーに関する知識を定着させていく必要がある。また、実験の方法や結果をもとにした考察を自分で考えられるようにしていくことも大切である。
- 生活習慣や学習環境等に関しては、自分と違う意見について考えることにより、自分の考えが深まるという経験を積む必要がある。そのために、授業中に様々な考えに気付けるよう、交流の時間を充実させていく。また、計画的に学習できるようになることは中学校へ進学する上でも重要である。自分に必要な学習をしたり、見通しをもって自分の力で学習を進めたりできるようにしていく。